

高校生の金銭感覚を補助するWebアプリケーションの開発

北山昊樹*1 奈良伊織*1 濱永真仁*1 鈴木虹瑚*1 伊藤大貴*2
*1大分県立大分舞鶴高等学校 生徒 *2大分県立大分舞鶴高等学校 教員

I. はじめに

近年、円安や物価上昇が進み、特に「**若者の貧困**」が問題となっている。貧困は犯罪にもつながるため、早期の対策が必要である。また、物価が短期間に変動する中で、個人の金銭感覚にズレ生じることが考えられる。そのため、社会に出る前から金銭感覚を身につけることが重要とされており、高校時代に正しい感覚を育成する必要がある。本研究では、高校生が**食品の価格変動に対して、食品の購入の際に栄養バランスを考**えて、**金銭を管理できる能力を養うことを目指すアプリケーションの開発**を目的にし、研究を行った。

II. 開発方法

表1 開発環境

VCS	使用言語	IDE	フレームワーク
Github	Python	Visual Studio Code	Streamlit

V. 結果

○一週間で平均いくら使用したか、また、摂取した養素のバランスを数値化することで、ユーザーが自分自身の金銭管理能力を認識することが出来るWebアプリケーションを開発することができた。
○一週間という短時間のシミュレーションの設定により、空き時間に手軽に利用することが可能なものができた。

図1 QRコード



III. アプリケーションの概要

一週間の生活シミュレーションの中で食品の価格変動に応じて自分の持ち金や栄養バランスを考慮し、何をいくつ買うのかを判断する。その結果をもとにユーザーの金銭管理能力を測ることが出来る。

<アプリケーションの流れ>

1. 個人のアカウントを作成
2. ログイン
3. 一週間のシミュレーション
朝・昼・晩の食事に必要な食材を考えて購入
⇒価格変動や栄養バランスを考慮
4. 結果の表示
⇒一日の支出や栄養バランスを数値化

➡ **金銭管理能力を可視化**

VI. まとめと今後の課題

個人のアカウント作成機能や栄養素の考慮を促す栄養バランスの可視化などの工夫を行うことで、実践的な金銭管理の生活シミュレーション、金銭管理能力の可視化を行うことができる、効率的な金銭感覚育成アプリを開発することができた。

しかし、他者と自分の金銭管理能力の比較を行うことができない。食品の価格変動への対応をテーマにWebアプリケーションの開発を行ったため、電気代やガス代、株価の変動に対応する機能の実装が必要である。

以上より、

- 他者との共有機能
- より現実的シミュレーションシステムの実装
- UIの改善

を今後の課題とする。

IV. アプリケーションの工夫

1. **アカウントを作成可能**にしたことで、他人にデータを閲覧されることがないよう工夫した。
2. 金額に限らず、栄養バランスも考慮し、**五大栄養素ごとに摂取した分の点数をつける機能を実装**した。

引用・参考文献

・カロリーSlism - 栄養成分/カロリー計算.株式会社 amaze. <https://calorie.slism.jp/>.(2024.10.29)

・食品の価格動向-農林水産省/食品価格動向調査の結果(小売価格)
<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/kouri/>.(2024.10.29)